

# マイナンバー対応に関する調査

人材サービスの株式会社VSN(本社：東京都港区、代表取締役社長：川崎 健一郎)は、全国・20～60代の男女を対象に、「マイナンバー対応に関する調査」を実施しました。  
調査手法はインターネットリサーチ、調査期間は2015年11月27日(金)～11月30日(月)。  
計1,111名から回答を得ました。

## TOPICS

マイナンバー、  
**カード申請をした人は14%**

カード申請方法は「**郵送**」が**最多**



カードを持つメリットは  
**「公的な身分証明書」**

個人番号カードにメリットを感じていない人は**約3割**

### 調査概要

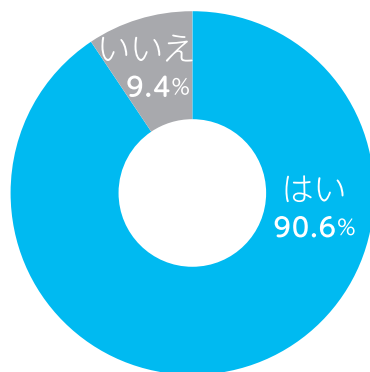
調査方法 インターネット調査  
調査地域 全国  
調査対象 20～60代の男女 合計1,111名

有効回答数 1,111サンプル (男性556サンプル・女性555サンプル)  
調査日時 2015年11月27日(金)～11月30日(月)

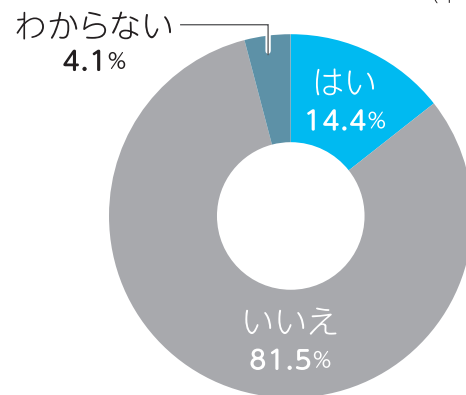
## マイナンバーの通知が届いて中身を確認した人は90%。 そのうちカードの交付を申請した人は全体の僅か14%。

マイナンバー通知の内容確認とカードの交付申請状況について聞いたところ、内容の確認をした人は90%（図1）。一方で個人番号カードの申請を既に済ませた、という人は僅か14%という結果になりました。（図2）

（図1） Q. マイナンバー通知の内容は確認しましたか  
（単一回答）



（図2） Q. 個人番号カードの交付申請をしましたか  
（単一回答）

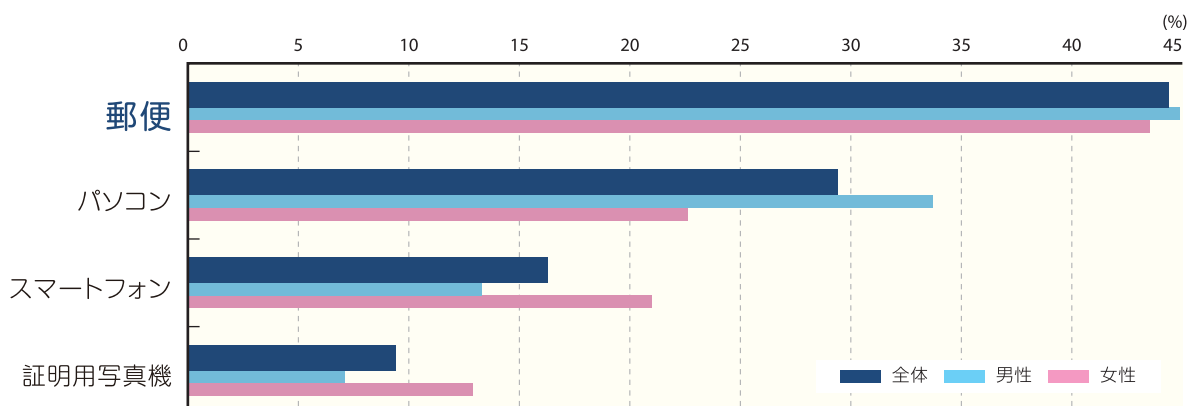


## 個人番号カードの申請方法は「郵送」が最多。女性は証明用写真機の利用が高めの結果に。

個人番号カードの交付申請方法は「郵送」で手続きをしている人が約半数で最も高い結果に。次いで「パソコン」「スマートフォン」。（図3）

あまり知られていない「証明用写真機」から申請した人は約10%程度ですが、30代・女性は約30%と高い結果となっています。

（図3） Q.個人番号カードの申請方法を以下の中からお選びください（単一回答）

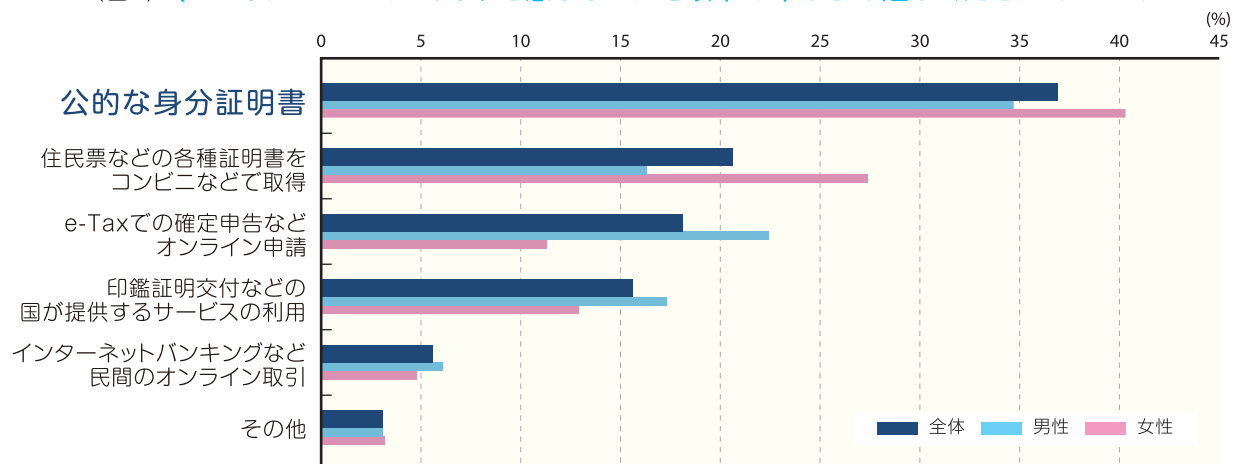


## 個人番号カードのメリットは「身分証明書」。 次いで「住民票など各種証明書をコンビニなどで取得」。

マイナンバーのメリットを聞いたところ、「公的な身分証明書」が最多、次いで「住民票など各種証明書をコンビニなどで取得」という結果となりました。(図4)

世代別にみると60代は「確定申告などの申請」の期待が高いことがわかりました。

(図4) Q. マイナンバーのメリットとを感じるモノを以下の中からお選びください (複数回答)

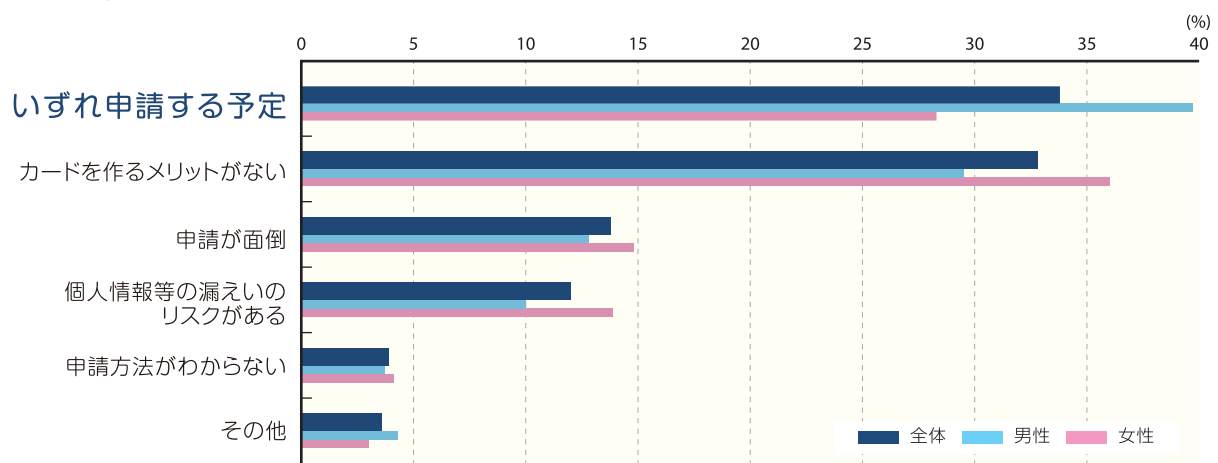


## 個人番号カードの“交付申請をしていない人”の約3割は「カードを作るメリットを感じていない」という結果に。

個人番号カードの交付申請をしていない人にその理由を聞いたところ、「いずれ申請する予定」という回答が約3割の結果となりました。(図5)

ほぼ同数で「カードを作るメリットを感じない」という回答も。

(図5) Q. 個人番号カードの交付申請をしていない理由を以下の中からお選びください (単一回答)



調査結果の引用・転載等に関するお問い合わせ先

株式会社VSN 経営企画部 広報宣伝グループ  
Tel: 03-5419-8908 Mail: pr@vsn.co.jp  
URL: www.vsn.co.jp